

令和5年度  
教育に関する事務の管理及び執行状況の  
点検及び評価等報告書

点検・評価対象年度：令和4年度（2022年度）

令和6年2月  
湯前町教育委員会

## 目 次

はじめに	
点検及び評価の概要について	・ ・ ・ ・ ・ P2
I 教育委員会の活動状況について	・ ・ ・ ・ ・ P4
II 教育施策の推進状況について	・ ・ ・ ・ ・ P8
1 学校教育の振興	
（1）校内研修の充実と学力向上	
（2）小中一貫教育の推進	
（3）地域とともにある学校づくり	
（4）人権教育の推進	
（5）食育の推進	
（6）学校教育施設・設備の整備	
（7）奨学金の運用状況	
2 社会教育の振興	・ ・ ・ ・ ・ P16
（1）青少年の健全育成	
（2）読書活動の推進	
（3）人権教育の推進	
（4）地域学校協働本部事業と家庭教育の推進	
（5）社会教育施設の充実	
3 社会体育の振興	・ ・ ・ ・ ・ P22
（1）スポーツ団体の充実と活性化	
（2）体育施設の整備、維持管理	
（3）湯前町スポーツ災害見舞金の運用状況	
4 文化財保護と文化振興	・ ・ ・ ・ ・ P27
（1）文化財愛護意識の向上	
（2）未指定文化財の調査	
（3）指定文化財の維持管理	
（4）文化団体の育成	
（5）湯前まんが美術館事業の充実	
5 総 括	・ ・ ・ ・ ・ P34
III 指標の達成状況一覧	・ ・ ・ ・ ・ P35
IV 学識経験者意見	・ ・ ・ ・ ・ P38
V 資料等	・ ・ ・ ・ ・ P39

## はじめに

このたび、湯前町教育委員会（以下「教育委員会」という。）では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第 26 条に定めるところにより、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を報告書にまとめました。

この点検及び評価は、令和 4 年度における「教育委員会の活動状況」及び「教育施策の推進状況」に関して実施したものであり、効果的な教育行政の推進に資するとともに、教育行政の推進状況に関する地域住民への説明責任を果たすことを目的としています。

教育委員会は、この報告書を議会に提出するとともに、地域住民に公表することとしています。また、この点検及び評価の結果を今後の教育委員会活動や教育施策に十分に反映させることで、本町における教育施策が、地域住民の皆様方の御理解の下に、適切・円滑に推進できますよう、取組の強化を図っていきます。

## 点検及び評価の概要について

### 1 点検及び評価の対象並びに実施方法

本報告書では、「教育委員会の活動状況」及び「教育施策の推進状況」についての点検・評価の結果を掲載しています。このうち、「教育施策の推進状況」についての点検及び評価の実施方法は、次のとおりです。

#### （1）取組・事業評価

「第 6 次湯前町総合計画」に掲げられた施策を構成する主な取組・事業等について、点検及び評価を実施します。

#### （2）施策評価

（1）の結果を踏まえ、令和 4 年度の施策の取組状況について点検及び評価を実施します。

### 2 点検及び評価の方法並びに評価の観点

点検及び評価に際しては、施策の必要性や効率性、有効性や公平性といった観点から客観的な評価がなされるよう配慮しています。また、対象となる施策を構成する主な取組・事業等の推進状況についての点検及び評価を通じて、施策自体に関する点検及び評価を実施することとしています。

### 3 教育に関して学識経験を有する者の知見の活用について

地教行法第 26 条第 2 項が規定している「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」については、学識経験者からの意見書を求める方式を取っています。

なお、今回の意見書については、次の 3 名の方に執筆をお願いしました。

工藤 維春 氏 学校関係者（湯前町学校運協議会長）  
苗床 由美 氏 社会教育関係者（湯前町婦人会長）（社会教育委員）  
森下 一富 氏 社会体育関係者（湯前町体育協会会長）（社会教育委員）

# I 教育委員会の活動状況について

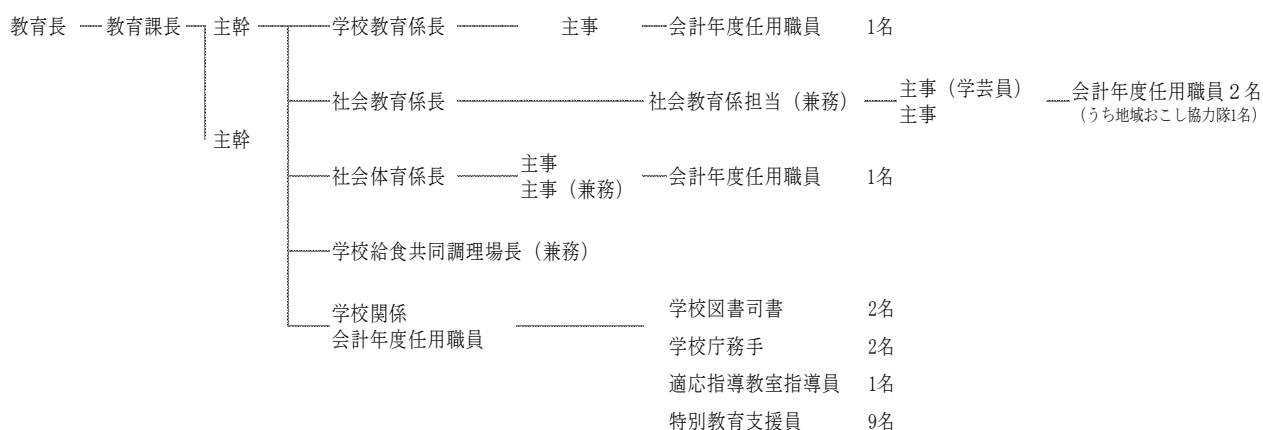
## 1 教育委員会組織

教育委員会組織（令和4年度）

（令和4年4月1日現在）

職名	氏名	現行任期		期数
教育長	中村 富人	R 1 . 7 . 1	R 4 . 6 . 3 0	2期
教育委員（職務代理者）	村井 信照	R 2 . 6 . 2 5	R 6 . 6 . 2 4	4期
教育委員	林 敦子	R 3 . 1 2 . 1 6	R 7 . 1 2 . 1 5	3期
教育委員	藤岡 祐子	R 1 . 1 2 . 1 9	R 5 . 1 2 . 1 8	1期
教育委員	堤田 秋男	R 3 . 2 . 2	R 7 . 2 . 1	1期

（参考：教育委員会部局組織図）



## 2 教育委員会の開催状況

### (1) 定例会・臨時会

開催月	番号	会議種	開催日	議事内容	議決結果
4	5	定例	4月27日	議案 第 13 号 令和4年度湯前町立小中学校指導の重点と重点努力事項について	可決
				議案 第 14 号 令和4年度湯前町奨学生について	可決
				議案 第 15 号 湯前町特別支援教育就学奨励費支給要綱を廃止する要綱について	可決
				議案 第 16 号 湯前町学校給食費補助金交付要綱を廃止する要綱について	可決
				議案 第 17 号 湯前町公民分館の建設費、運営費及び敷地購入に係る補助金交付に関する規則を廃止する規則について	可決
				報告 第 5 号 令和4年度社会教育・社会体育事業計画について	-
				報告 第 6 号 令和4年度一般会計予算の補正予算について	-
5	6	定例	5月27日	議案 第 18 号 湯前町学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について	可決
				議案 第 19 号 湯前町中央公民館館長の任命について	可決
6	7	定例	6月23日	議案 第 20 号 令和4年度湯前町教育支援委員会委員の選任について	可決
				議案 第 21 号 令和4年度特別支援教育奨励費の認定について	認定
				議案 第 22 号 令和4年度就学援助費の認定について	認定
				報告 第 7 号 湯前町議会令和4年度第4回定例会結果について	-
7	8	臨時	7月1日	議案 第 23 号 湯前町中央公民館館長の任命について	可決
				議案 第 24 号 湯前町B&G海洋センター所長の任命について	可決
				議案 第 25 号 湯前まんが美術館館長の任命について	可決
				報告 第 8 号 湯前町教育委員会教育長職務代理者の指名について	-
	9	定例	7月22日	報告 第 9 号 各種事業の執行状況について	-
8	10	定例	8月24日		-
9	11	定例	9月26日	報告 第 10 号 湯前町議会令和4年第7回定例会結果について	-
10	12	定例	10月25日	議案 第 26 号 令和4年度教育委員会事務評価員の委嘱について	可決
11	13	定例	11月28日	諮問 第 1 号 中学校部活動の地域移行について	-
12	14	定例	12月22日	議案 第 27 号 令和4年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価等報告について	可決
				報告 第 11 号 湯前町学校給食共同調理場運営委員会委員の変更について	-
1	1	定例	1月26日	議案 第 1 号 就学援助費の認定について	認定
2	2	定例	2月27日	議案 第 2 号 就学援助費の認定について	認定
				議案 第 3 号 湯前町教育委員会会議傍聴人規則の一部を改正する規則について	可決
				議案 第 4 号 令和5年度当初予算要求について	可決
				議案 第 5 号 湯前町立学校の体育館使用条例施行規則の一部を改正する教育委員会規則について	可決
				報告 第 1 号 令和4年度熊本県学力・学習状況調査について	-
	3	臨時	2月27日	議案 第 6 号 令和5年度教職員人事異動素案について	可決
3	4	定例	3月27日	議案 第 7 号 湯前町立小・中学校管理規則の一部を改正する規則について	可決
				議案 第 8 号 湯前町学校運営協議会委員の委嘱について	可決
				議案 第 9 号 湯前町スポーツ推進委員会委員の委嘱について	可決
				議案 第 10 号 湯前町スポーツ災害委員会委員の委嘱について	可決
				議案 第 11 号 湯前町奨学生選考委員会委員の委嘱について	可決
				議案 第 12 号 湯前町学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について	可決
				議案 第 13 号 湯前町教育支援委員会委員の委嘱について	可決
				議案 第 14 号 湯前町中央公民館館長の任命について	可決
				報告 第 2 号 令和4年度湯前町スポーツ災害見舞金について	-
				報告 第 3 号 湯前町議会令和5年3月定例会結果について	-
				同意 第 1 号 湯前町教育大綱の改訂について	同意

## (2) 研修等・事業活動

- ① 研修等 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施なし
- ② 事業活動 学校訪問

対象学校	実施年月日	主な内容
湯前小学校	令和4年7月11日	【球磨教育事務所学校訪問】 諸表簿点検・経営概要説明 参観授業・講評指導
湯前中学校	令和4年9月6日	諸表簿点検・経営概要説明 参観授業・講評指導 給食試食

## (3) 総合教育会議

開催回数 1回 開催年月日 令和4年8月24日 会場 湯前町役場応接室

出席者 湯前町長 長谷 和人  
湯前町教育委員会委員 村井 信照  
湯前町教育委員会委員 林 敦子  
湯前町教育委員会委員 藤岡 祐子  
湯前町教育委員会委員 堤田 秋男

委員以外の出席者

総務課長 西村 洋一  
教育課長 浅田 徹  
教育課主幹 山崎 祥子  
教育課主幹 赤池 寛子  
教育課係長 岩野 浩平  
地域活性化起業人 大森 健宏

議 事

- ① 学校給食について
- ② 新型コロナウイルス対策について
- ③ 児童生徒の学力について
- ④ 地域活性化起業人事業について
- ⑤ 中学校部活動の社会体育移行について
- ⑥ 地域学校協働活動について

#### (4) 教育委員会事務等点検・評価

開催年月日 第1回：令和4年11月15日・第2回：令和4年11月30日

点検評価員（知見を活用する学識経験者）

氏名	所属等
高木 堅介	学校関係者（湯前町 PTA 連絡協議会長）
苗床 由美	社会教育関係者（湯前町婦人会長）（社会教育委員）
森下 一富	社会体育関係者（湯前町体育協会会長）（社会教育委員）

#### 学識経験者意見（評価対象年度：令和3年度）

項目	意見	
学校教育の振興	効果ある事業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校での教育目標達成に向けた諸事業</li> <li>・小中一貫教育・夢創出事業</li> <li>・入学祝金等の子育て支援事業・学校施設での新型コロナ対策</li> </ul>
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGA スクール構想事業の運用</li> </ul>
社会教育の振興	効果ある事業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習事業</li> </ul>
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少化での公民分館活動や生涯学習活動の中長期的対策等検討</li> <li>・夜間など生涯学習機会の拡充</li> <li>・コロナ感染症対策と社会教育振興事業の停滞</li> <li>・まんがのまちづくりにおける観光振興との連携</li> </ul>
社会体育の振興	効果ある事業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の総合運動クラブ活動</li> <li>・地域活性化起業人制度を活用した健康づくり活動</li> <li>・B&amp;G 関連事業</li> </ul>
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民全体の健康増進と体力維持・体育協会員の増加</li> <li>・海洋クラブ会員の増加・スポーツ振興指導員の負担検討</li> </ul>
文化振興 文化財保護と	効果ある事業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護及び活用関係事業・文化庁芸術巡回公演事業</li> <li>・中学生伝統芸能継承活動・まんがのまちづくり関係諸事業</li> </ul>
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の紹介等情報発信強化・未整備文化財施設周辺整備</li> <li>・多世代への文化芸術振興施策</li> </ul>
総括	<p>新型コロナウイルス対策が大きな課題となっているが、第6次湯前町総合計画等の各種計画に基づき事業継続・拡充を行っていく。</p>	



## II 教育施策の推進状況について

### 1 学校教育の振興

学校の状況（児童・生徒数・学級編成・教職員等）

#### (1) 湯前小学校

教育目標：ふるさとを愛し、一人一人が輝く  
徳・知・体の調和のとれた児童の育成

（小中一貫教育のため教育目標は小中学校共通）

#### 学級編成

学校	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
湯前小学校	20	30	21	24	34	28		
知的1～3	知的4～6	自情1～2	自情3～4	自情5～6	弱視(4)	計	特別支援教育児童	
4	5	6	8	3	1	184	27	14.7%

#### 児童・学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
令和3年度	児童数	30	21	22	34	28	28	29	192
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	12
令和4年度	児童数	20	30	21	24	34	28	27	184
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	12
令和5年度	児童数	17	19	29	25	23	34	20	167
	学級数	1	1	1	1	1	1	4	10

#### 教職員数

校長	教頭	教務主任	研究主任	事務主幹	養護教諭	栄養教諭	学級担任	計
1	1	1	1	1	1	1	12	19
特別支援教育支援員		学校事務	庁務手	計	合計			
6		1	1	8	27			

(2) 湯前中学校

教育目標：ふるさとを愛し、一人一人が輝く  
徳・知・体の調和のとれた生徒の育成

(小中一貫教育のため教育目標は小中学校共通)

学級編成

学校	1年	2年	3年	合計	
湯前中学校	29	25	34	88	
特別支援	2	0	3	5	5.4%
計	31	25	37	93	

生徒・学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	特別支援学級	計
令和3年度	生徒数	24	34	26	7	91
	学級数	1	1	1	3	6
令和4年度	生徒数	29	25	34	5	93
	学級数	1	1	1	2	5
令和5年度	生徒数	30	28	25	3	86
	学級数	1	1	1	2	5

教職員数

校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	養護助教諭	事務職員	非常勤講師	計
1	1	9	1	1	1	1	1	16
特別支援教育支援員		適応指導教室指導員	学校事務	庁務手	計	合計		
3		1	1	1	6	22		

## 総括（令和4年度一般会計決算書の主要な施策の成果より）

### 第5章 地域をつなぐ人づくり

#### 第1節 学校教育の振興

学校教育については、児童生徒の学力と心身の育成のための経常的な施策のほか、地域とともにある学校づくりを進めるために、地域学校協働活動の充実や湯前町学校運営協議会において学校経営方針の協議等を行いました。また、各種行事の合同開催や交流授業などにより、小中一貫教育の推進を図りました。

外国語・英語教育では、外国語指導助手派遣委託を継続し、英語教育の強化を図るため小中学校英語検定料補助を実施し延べ30名が受験をしました。

令和3年度からふるさと納税を財源とした子育て世代への支援事業を始め、小中学校新入学生の保護者55名に入学祝い金を支給し、また、修学旅行に参加した小学6年生の保護者28名、中学2年生22名、中学3年生33名に費用の定額補助を行いました。また、小中学生が一流のスポーツや文化等に触れることができる機会を設け、夢を持つきっかけづくりや将来の可能性を広げていくことにつなげるための夢創出事業として、令和4年度は外部講師を招いて、夢についての講演会を小学校で実施しました。

また、管内の高校等に公共交通機関を利用して通学する生徒への支援として、延べ168名に通学定期券代の一部補助を行いました。

GIGA スクール構想の取り組みとして、児童生徒へ1人1台のタブレット端末の整備、各教室の電子黒板の配備や学習支援ソフトウェアを導入しICT教育の充実を図る中、小学校では指導者用タブレット及びWeb授業用機器、中学校では指導者用タブレットの増台を行いました。

学校施設整備については、中学校での自転車通学の増加に伴う駐輪場の整備と学校給食共同調理場の空調改修工事を行いました。

学校給食では、児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた安心安全でおいしい給食の提供とともに、配膳、会食、後片付けを通じた協調性や社会性の涵養、食事マナーの習得など食に関する「生きた教材」として、学校教育活動の重要な役割を担っており、令和2年度から継続して学校給食費補助を行いました。また、地産地消推進等のために米飯原料として品種「ぴかまる」を試行的に使用しました。

## (1) 校内研修の充実と学力向上

### ① 校内研修の実施状況

#### ○ 湯前小学校（「学校経営案」校内研修全体計画より）

##### ・研修目的

教育の現場における実践的研修を相互に深め、教職員としての資質の向上に努めることによって学校教育の充実を図る。

##### ・研修の視点

本校の学校教育目標の達成に向けて研鑽を積む研修

教職員としての視野を広げ、教育的実践力を高める研修

児童の変容を把握し、授業改善につなげる研修

学校職員が相互に協働し、適切に組織を形成しながら運営していく研修

##### ・研修の基本方針

###### (1) 課題研修

全職員共通理解のもと、児童の実態から浮かび上がってくる課題を改善できるよう研究を進めていく。

研究の深まりや実践が児童に反映され、また、児童の変容によって研究・実践の結果が見て取れるよう進めていく。

###### (2) その他の現職研修

人権教育研修の推進

特別支援教育研修の推進

道徳教育研修の推進

実践研修を取り入れ、指導技能の向上を図る（情報教育等）

保育園等、中学校等との連携を図り、研究・情報交換の場をもつ

各種研究会の報道の機会を設け、全体に広める

##### ・課題研修（研修主題）

問いを正しく理解し、自分の考えを適切に表現する児童の育成

～「分かった」「できた」を実感できる算数科の授業づくりを通して～

・研修計画 中研（学年単位等の研修）1回・大研（学校全体での研修）2回

・研修実績 28回

○ 湯前中学校（「学校経営案」校内研修全体計画より）

・研究主題

未来へ向けて、「支え合う力・やりきる力・伝え合う力」を高める生徒の育成  
～生徒が「学びの主体」となる授業の実践を通して～

・主題設定理由

「熊本の学び推進プラン」より  
昨年度までの取組の観点より

・研修計画 校内研修 21 回

・研修実績 校内研修 21 回

② 学力向上に向けた実施状況

○ 湯前小・中学校 当該年度の重点努力事項 「確かな学力の育成」

- ・基礎・基本の定着と思考力・判断力・表現力の育成を通じた学力充実
- ・効果的な学力向上検証改善サイクルの確立
- ・ICTを活用した授業改善の推進
- ・個に応じた家庭学習の充実

（2）小中一貫教育の推進

4月 見知り遠足・集会

5月 プール掃除を小中同日に実施

6月 合同引き渡し訓練

11月 合同地震避難訓練

2月 中学校説明会

○ 乗り入れ授業

① 小学6年生（3日間）が中学校で授業を受ける）

1学期：2H、2学期：2H、3学期：1H

② 小学5年（3日間）小学校に中学校の先生が来る

1学期：1H、2学期：1H、3学期：1H

### (3) 地域とともにある学校づくり

- ① 学校運営協議会の開催 3回
- ② 地域学校協働活動の実施状況 協働本部会議 3回

#### 令和4年度 地域と学校の連携・協働体制構築事業 協働活動実施状況

年月日	活動名	主事務局	小学校						中学校									
			学校参加者数			地域参加者数			計	学校参加者数			地域参加者数			計		
			教職員	児童	小計	事務局	その他	小計		教職員	生徒	小計	事務局	その他	小計			
5月6日	中学校自転車点検	学校・協働本部			0			0			0		93	93		8	8	101
5月17日	6年生花いっぱい交流	社会福祉協議会	3	31	34			25	25	59								
5月23日	1・2年いきいき交流	社会福祉協議会	5	58	63			13	13	76								
6月7日	5年生種まき体験	JA青壮年部	2	37	39			7	7	46			0					0
6月9日	小2生活科探検	学校・協働本部	3	33	36			6	6	42			0					0
6月21日	6年租税教室	湯前町	3	31	34			1	1	35			0					0
6月25日	5年生田植体験	JA青壮年部	2	37	39			20	20	59			0					0
7月12日	小学校 まんが授業	教育委員会	3	30	33	2	3	5	38			0						0
7月12日	中学校 まんが授業	教育委員会			0			0	0	0	4	93	97	2	3	5	102	
8月29日	4年いきいき交流	社会福祉協議会	3	30	33			12	12	45								
9月1日	3年いきいき交流	社会福祉協議会	3	28	31			10	10	41								
10月13・14日	小6家庭科ミシン学習	学校・協働本部	3	31	34			10	10	44			0					0
10月17日	5年生花いっぱい交流	社会福祉協議会	2	37	39			30	30	69								
10月19日	中学校2年職場体験	学校・協働本部			0			0	0	0	2	25	27	1	20	21	48	
10月20日	中学校2年職場体験	学校・協働本部			0			0	0	0	2	25	27	1	20	21	48	
10月24日	5年生福刈り体験	JA青壮年部	2	37	39			15	15	54			0					0
10月31日	小中学校合同避難訓練	その他	20	183	203	6	6	6	209	20	93	113		6	6	215		
11月4日	小2生活科探検	学校・協働本部	3	33	36			6	6	42			0					0
11月11日	小3町のお宝を探そう	学校・協働本部	3	28	31			6	6	37			0					0
11月14日	2年生 いきいき交流	社会福祉協議会	3	33	36			13	13	49			0					0
11月14日	伝統芸能継承活動	学校・協働本部									5	62	67		20	20	87	
11月25日	4年いきいき交流	社会福祉協議会	3	30	33			13	13	46								
12月5日	小6家庭科調理	学校・協働本部	3	31	34			6	6	40			0					0
12月9日	3年いきいき交流	社会福祉協議会	3	28	31			10	10	41			0					0
12月13日	小1普遊び交流	学校・協働本部	2	24	26			11	11	37			0					0
3月9日	中2郷土料理教室	学校・協働本部			0			0	0	0	2	25	27		6	6	33	
夏季	夏季 地域未来塾	教育委員会			0			0	0	0		237	237	11	10	21	258	
冬季	冬季 地域未来塾	教育委員会			0			0	0	0		67	67	10	8	18	85	
			74	810	884	2	223	225	1,109	35	720	755	25	101	126	977		

地域参加者数	351
児童生徒	1,530
教職員	109
計	1,990

### (4) 人権教育の推進

- ① 人権教育推進活動の実施状況
  - ・人権教育に関する研修（教職員） 小学校：20回 中学校：6回
  - ・人権集会 小学校：学期に1回 計3回 中学校：1回

## (5) 食育の推進

### ① 食育推進活動の実施状況

- ・野菜の栽培活動
- ・栄養教諭による食育指導（各学年）
- ・「ふるさとくまさんデー」などで地元食材を活用、地産地消を推進し、給食だよりで周知啓発した。

### ② 学校給食の状況

- ・給食回数 小学校：188回・中学校：189回
- ・給食費 小学校 46,200円（人／年額）・中学校 55,000円（人／年額）
- ・学校給食共同調理場運営委員会 開催回数3回
- ・学校給食補助事業

単位：人・円

区分	対象人数	補助金額	備考(補助率)
一般給食費補助	222	3,201,875	(1/3)
特別支援教育奨励費	21	484,940	(1/2)
就学援助費	28	1,346,400	(10/10)
学校給食安定供給支援	271	300,000	定額
ぴかまる原材料費	271	215,784	実費額
計		5,548,999	

(6) 学校教育施設・設備の整備

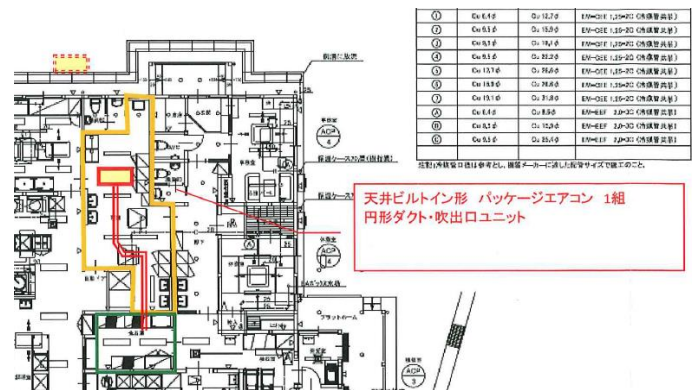
単位：千円

事業（工事）名	事業概要	事業費
湯前中学校駐輪場整備工事	駐輪場新設 1棟	2,948
湯前町学校給食共同調理場 空調設備設置工事	空調設備改修・増設	1,524

財源内訳

単位：千円

事業（工事）名	事業費	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
湯前中学校駐輪場 整備工事	2,948	0	0	0	2,948
湯前町学校給食共 同調理場空調設備 設置工事	1,524	0	0	0	1,524





## (7) 奨学金の運用状況

進学の意欲を有し経済的理由により就学困難な者へ、教育の機会均等に寄与するとともに有望な人材を育成することを目的として、新たに奨学金 2 件の貸付を行いました。

令和 4 年度の奨学金基金の運用状況等は次のとおりです。

### ○基金の額

令和 3 年度末	免除額	取崩・繰出	令和 4 年度末
70,000,000 円	0 円	0 円	70,000,000 円

### ○運用状況

前年度末現金残高	34,281,942 円	①
当年度繰出額	0 円	②
当年度貸付額	2,400,000 円	③
当年度償還額	7,562,000 円	④
当年度末現金残高	39,443,942 円	⑤ (①-②-③+④)

- 《貸付の状況》 ・ 奨学金 5 人 (延べ 36 人) ・ 入学準備金 0 人  
《滞納の状況》 ・ 滞納者実人員 1 人 ・ 滞納額 215,000 円  
《債権管理状況》 ・ 借用証書  
《運用収益状況》 ・ 基金利子を一般会計へ

## 2 社会教育の振興

総括 (令和 4 年度一般会計決算書の主要な施策の成果より)

### 第 2 節 社会教育の振興

社会教育の振興施策については、公民分館活動の振興を通じたスポーツ活動や花づくり活動等の地域コミュニティ活性化を図るため、公民分館活動振興補助金並びに花づくり奨励金を交付し振興を図りました。

また、公民分館活動の拠点である施設の充実を図るため、4 分館に分館施設整備補助金を交付し整備を行いました。

生涯学習では、一般成人を対象に 13 講座を開設し、受講生の知識や健康増進の向上を図りました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により開講式や閉講式、秋の文化祭も中止になりましたが、新生活様式の徹底を図りながら三密を避け、講座毎にその成果を分散発表することで成果発表の場を醸成し、学習意欲を高めることができました。

また、青少年を対象に 1 教室、家庭教育学級 1 教室を開催し、人づくりに努めました。

青少年の健全育成では、青少年の非行や犯罪を防止するために地域の方々と連携し、非行防止運動の啓発などに努めました。

読書活動については、図書室だよりを発行、お勧めの図書や新刊案内等を掲載し利用の増加促進を図りました。また、図書室の壁面や図書の並べ方の工夫も行いました。

人権教育では、町人権教育推進協議会を中心として職員研修会を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止となりました。令和 3 年度に引き続き人権啓発事業として、湯前町図書室に人権推進協議会より図書を寄贈いただき、人権図書コーナーを設置しました。

### ○生涯学習講座の受講者数と図書室の利用

教室名	受講者数	備考
生涯学習（13 教室）	延 153 人	（実人数 93 人）
青少年教室（1 教室）	2 人	
家庭教育学級（1 教室）	25 人	
図書利用状況（人数・冊数）	594 人	1,502 冊

#### （1）青少年の健全育成

青少年の健全育成に係る組織の状況

- ① 団体名称：湯前町青少年育成町民会議
- ② 設置目的

この会議は、青少年問題の重要性にかんがみ広く町民の総意を集結し、次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的とする。

③ 令和4年度事業実績

令和4年度事業報告

青少年育成会議事業

期 日	事 業 名	場 所	備 考
5/19～5/30	熊本県青少年育成県民会議総会	【書面開催】	
6月27日	こどもと高齢者のふれあい交流会	小学校体育館	
7/1～7/31	「社会を明るくする運動」強調月間	旬報記事掲載（7.15）	
8/8～8/24	湯前町青少年育成町民会議総会	【書面開催】	
7/1～8/31	青少年健全育成県民総ぐるみ運動	HP記事掲載	県、県青少年育成県民会議主催
9月4日	第43回「少年の主張」熊本県大会	八代市	欠席
11月	「子供・若者育成支援推進強調月間」		内閣府主催
12/12～1/17	「家庭の日」あったか家族コンクール		県青少年育成県民会議主催
表彰のみ	青少年健全育成県民フォーラム		県、県青少年育成県民会議主催
少年補導委員・防犯警ら隊		休み期間中の夜間パトロール	

協賛事業

期 日	事 業 名	場 所	備 考
6月～10月	B & G海洋クラブ	町内ほか	B & G主催
1月12日	家庭教育講演会	湯前町農村環境改善センター	町保小中連携連絡協議会主催 町PTA連絡協議会共催

## B&G 海洋クラブ活動



## (2) 読書活動の推進

### ① 中央公民館図書室利用状況

- ・ 図書貸出者数 R3 : 666 人→R4 : 594 人
- ・ 貸出図書数 R3 : 1,855 冊→R4 : 1,502 冊

### ② ブックスタート事業実績 5回 計：親子 20組



### (3) 人権教育の推進

人権教育の推進に係る組織の状況

① 団体名称：湯前町人権教育推進協議会

② 設置目的

本会は、湯前町内における人権教育を社会教育・学校教育・就学前教育の両面から推進することを目的とする。

③ 令和4年度事業実績

#### 令和4年度 事業報告

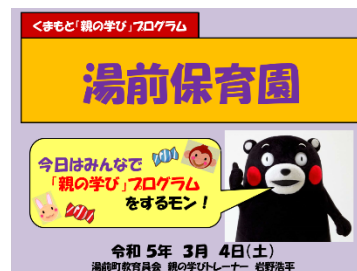
期 日	区分	事 業 名	場 所
4月19日	郡市	人吉球磨人権教育研究協議会第1回代表者会議	人吉市
5月24日	郡市	人吉球磨人権教育研究協議会第2回代表者会議	人吉市
6月8日	県	第1回人権教育行政担当者研修会	熊本市
7月28日	郡市	人吉球磨人権教育研究協議会研究大会全体会	人吉市
	郡	人吉球磨人権教育研究協議会研究大会分科会	湯前町
8月24日	町	湯前町人権教育推進協議会会計監査	湯前町
9月	町	【書面開催】湯前町人権教育推進協議会総会	
10月22日～23日	県	第50回熊本県人権教育研究大会	山鹿市
10月28日	郡市	人吉球磨人権教育研究協議会第3回代表者会議	人吉市
11月12日～25日	県	【録画配信】部落解放第34回熊本県研究集会	
1月27日	県	第2回人権教育行政担当者研修会	熊本市

#### (4) 地域学校協働本部事業と家庭教育の推進

##### ① 地域学校協働本部事業の実施状況 P13 掲載

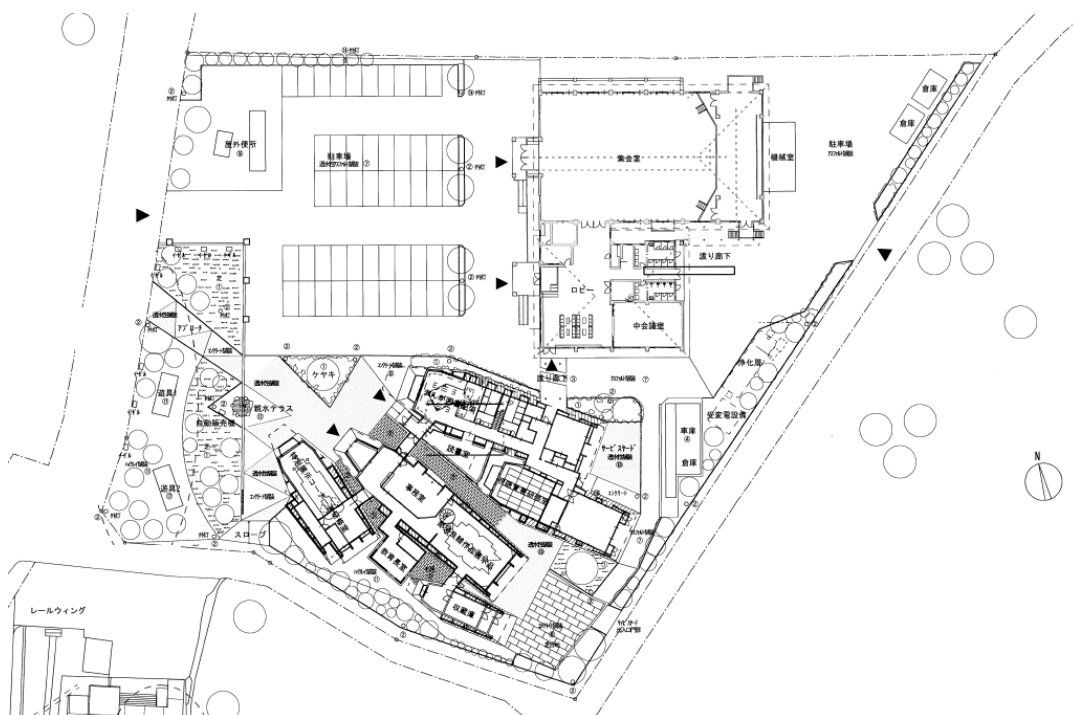
##### ② 家庭教育の推進（親の学び事業の実施状況）

市町村名	就学前 実施率	保護者対象			生徒対象				
		実施 園数	幼 保園 数	小学校 実施率	実施 校数	小学 校数	中学校 実施率	実施 校数	中 学 校 数
湯前町	100 %	2	2	100 %	1	1	100 %	1	1



#### (5) 社会教育施設の充実

令和4年度に特記する事業はありませんでした。



### 3 社会体育の振興

総括（令和4年度一般会計決算書の主要な施策の成果より）

#### 第3節 社会体育の振興

社会体育では、町民の健康増進、体力の保持や向上等を目的として、体育協会やスポーツ推進委員の協力により球技大会、町民体育祭、町内駅伝大会を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、春季球技大会以外の事業は中止となりました。

体育協会や総合型地域スポーツクラブを活用した教室や体験会などは、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら実施しました。

体育協会の会員数は、285人となり減少傾向があるものの、総合型地域スポーツクラブ湯前さわやかクラブ「だんだん」（以下、「だんだん」）では、平成31年度から熊本県下の小学校運動部活動が社会体育へ移行したことを契機に、児童向けの教室を新規で開設したことなどから児童会員が増加、会員数は159人となり児童を中心とした運動コミュニティの活性化を図ることができました。地域指導者の協力を得て週に2回放課後の時間帯に小学校体育館をメイン会場として開催される「総合運動クラブ」は全71回開催し、延べ1,943人の児童が参加しました。

「健康のまちづくり」を目的に企業からの人材派遣によってスポーツ実施率などの地域課題を解決するため「地域活性化起業人制度」を活用し、株式会社ルネサンスからの派遣職員による高齢者・働き世代や女性、親子などを対象とした運動教室を開催しました。

また、各公民分館で開催される「いきいき教室」や町内事業所での体操教室へ講師派遣を行うなど、地域コミュニティでの健康づくり活動を実施しました。各教室には高齢者172教室1,171人、働き世代43教室147人、親子6教室41人の延べ1,359人が参加し、社会体育事業として働きかけが難しい対象者への運動機会の向上に繋がりました。

そのほか、スポーツコミュニティ活性化事業ではSUPヨガ、シナプソロジーインストラクター養成研修、プレイリーダー研修会など、地域活性化起業人の発案事業により、子どもから高齢者までの地域住民がB&G施設や関連器材を活用し、スポーツを通じた交流について学ぶ機会の創出となりました。

地域間連携での体育事業については、奥球磨駅伝競走大会をはじめ奥球磨ロードレース大会や球磨一周駅伝大会など、球磨人吉管内市町村との連携によるスポーツ事業を開催することができました。また、令和4年度は（一社）熊本県自転車競技連盟が主催する自転車競技大会「ツアーオブ九州全国ジュニアステージレース」が本町を会場として開催されました。

B&G 関連事業では、海洋性レクリエーションの機会提供や、地域児童や住民を対象とした海洋クラブ活動、地域河川を利用した SUP 体験会を実施しました。また、水難事故の防止を目的に「水辺の安全教室」を上球磨消防署の協力を得て開催し、自らの命を守る自助意識の普及と海洋性レクリエーション活動の推進に努めました。そのほかにも、B&G 海洋クラブや指導者会協力のもと学童クラブと連携した「BG 塾」を実施し、体験活動機会の少ない児童に向けた体験の提供と、水辺の安全など生きる力を学ぶ事業を実施しました。

また、社会体育施設総合整備事業として湯前町 B&G 海洋センターの玄関バリアフリー化やアリーナ照明 LED 化などの改修と町民グラウンドテニスコートの人工芝改修等による多目的コート化に着手しましたが、工事期間が不足したためテニスコート改修工事は令和5年度へ事業繰越を行いました。

## （１）スポーツ団体の充実と活性化

### ① 総合型地域スポーツクラブ湯前さわやかクラブ

「だんだん」の定期的・継続的な活動【令和4年度末時点（数字）は実人数】

種 目	参加者数	
	令和3年度	令和4年度
総合運動	44	44
軟式野球	19	19
野球教室	11	11
ソフトテニス	26	25
バドミントン	9	9
フットサル	18	20
トランポリン	22	20
ボウリング	7	7
歌声	5	5
水泳・水中運動	4	4
計	165 (131)	164 (159)



② 町スポーツ推進委員の会議開催及び研修会参加

定例会議 9回  
郡市理事会・研修会 3回  
県研修会 1回2日間

③ 各種大会等の開催

新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、春季球技大会以外の秋季球技大会・町民体育祭・町内駅伝大会は中止となりました。

## 3年ぶりの開催 笑顔で楽しむ

### 「第57回春季球技大会」多くの町民がスポーツで交流

5月22日、町民グラウンドなど町内4会場で「第57回春季球技大会」を開催。413人の町民がバドミントン・ティーボール・ビーチボールバレー・グラウンドゴルフに出場し、競い合いました。

3年ぶりの開催となった今回。子どもも大人も一緒になって笑顔で汗を流しました。



#### 競技結果

##### ▶バドミントン

8地区・10チーム

##### 〈一部〉

- ① 馬場A
- ② 上里3
- ③ 田上、馬場C

##### 〈二部〉

- ① 下城
- ② 馬場B
- ③ 上村、下染田

##### ▶ティーボール

7地区・7チーム

- ① 野中田3
- ② 瀬戸口
- ③ 下城、中里2

##### ▶ビーチボールバレー

10地区・10チーム

##### 〈一部〉

- ① 馬場A
- ② 植木A
- ③ 下染田、野中田3

##### 〈二部〉

- ① 植木B
- ② 瀬戸口
- ③ 下里A、下里B

##### ▶グラウンドゴルフ

17地区・208人

- ① 浅鹿野
- ② 野中田3
- ③ 上・中猪、田上

④ 小学校運動部活動の社会体育移行

小学校運動部活動の社会体育移行に伴い、「だんだん」を受け皿とした総合運動クラブによるコーチ部会の組織と児童への指導を実施しています。

⑤ 中学校部活動の地域移行

「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」(R4.6.6)「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン」(R4.12)「熊本県公立中学校の運動部活動における休日の段階的な地域移行推進計画」(R5.2)が示され、本町では地域移行に向けた調査委員会を設置し、アンケート調査や学校・保護者等との意見交換会議を開催しました。

## (2) 体育施設の整備、維持管理

### ① 整備事業

単位：千円

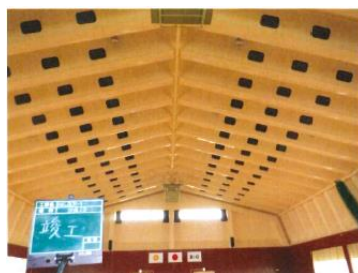
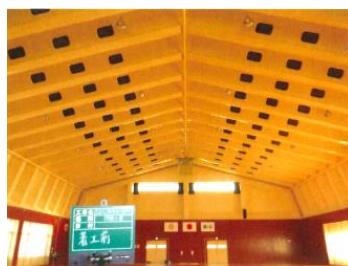
事業（工事）名	事業概要	事業費
湯前町 B&G 海洋センター 改修事業	設計・監理 建築改修工事	935 8,690
湯前町民グラウンドテニスコート 改修事業	設計 公園工事（令和5年度へ繰越）	968 33,402

財源内訳

単位：千円

事業（工事）名	事業費	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
湯前町 B&G 海洋セン ター改修事業	9,625	0	0	5,300	4,325
湯前町民グラウンドテ ニスコート改修事業	34,370	0	0	10,000	24,370

・ B&G 財団修繕助成 ・ 企業局リニューアル交付金



### ② 維持管理

- ・ 体育施設清掃委託
- ・ プール監視業務委託
- ・ 海洋センター管理人業務委託
- ・ 消防施設点検委託
- ・ 警備委託
- ・ 海洋センター外部清掃等委託

○令和4年度社会体育施設利用状況

(単位：人・円)

区分	体育館		プール		グラウンド		テニス		トレーニング ルーム	合計	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	人員	金額
4月	844	14,100			381	11,900	83	310	211	1,519	26,310
5月	1,293	21,950			950	7,240	93	1,550	209	2,545	30,740
6月	1,023	24,400	917	73,730	422	36,090	19	620	233	2,614	134,840
7月	1,105	21,090	2,090	164,820	528	27,340	148	0	224	4,095	213,250
8月	821	16,570	2,610	165,660	390	59,260	24	3,010	232	4,077	244,500
9月	764	13,280	601	35,330	386	33,380	183	1,550	185	2,119	83,540
10月	744	18,760			483	40,320	149	730	162	1,538	59,810
11月	968	19,120			623	46,760	162	2,170	179	1,932	68,050
12月	867	15,550			752	8,800	10	310	168	1,797	24,660
1月	358	260		14,200	346	17,280			191	895	31,740
2月	319	0			403	9,060			217	939	9,060
3月	639	4,870			479	6,240			235	1,353	11,110
計	9,745	169,530	6,218	453,740	6,143	303,670	871	10,250	2,446	25,423	937,610

(3) 湯前町スポーツ災害見舞金の運用状況

○運用状況

前年度末基金残高	17,071,638円 ①	
当年度収入額	144円 ②	預金利息
当年度支出額	14,400円 ③	見舞金2件
当年度末基金残高	17,057,382円 ④ = ① + ② - ③	

湯前町スポーツ災害見舞金は、スポーツ事故により、害を受けた者又はその遺族に対して見舞金を支給する制度です。町、町教育委員会、湯前町体育協会、地区・分館が主催・共催するスポーツ大会、及び町代表として参加した郡、県、全国大会の練習及び競技中、生命又は身体に障害を受けた事故の被害者又はその遺族に対して支給されます。

## 4 文化財保護と文化振興

総括（令和4年度一般会計決算書の主要な施策の成果より）

### 第4節 文化財保護と文化振興

文化財保護については、ふるさと納税を財源として令和3年度より継続して町指定無形民俗文化財浅鹿野棒踊りの保存記録事業に取り組み、聞き取り調査やお囃子の演奏動画作成等を行いました。また、湯前町文化財振興補助事業により文化財保存団体の活動支援などを実施しました。また、令和3年度からの繰越事業として、下里区が事業主体となる熊本県指定文化財の木製弘法大師坐像修理が完了しました。

指定文化財は文化財保護委員による定期的な巡回の実施により、文化財の保存に努めました。文化財建造物の保存活用では、前年度から引き続き下里御大師堂保存修理工事及び工事見学会を開催しましたが、防災設備工事並びに明導寺阿弥陀堂防災設備改修工事は令和5年度へ事業繰越を行いました。このほかに下里御大師堂周辺整備として、公園休憩所の実施設計を行いました。

まんが美術館では、新型コロナウイルスの影響が和らぎ、1年を通して開館することができました。学芸員資格者1名と地域おこし協力隊2名を配置し、那須良輔作品のアーカイブ事業を継続するとともに、那須良輔作品を基調とした常設展示と「300人のマンガ家色紙大博覧会」、令和3年度に制作した那須良輔物語『風を描く人』を題材とした特別展を開催しました。美術館の新しい取り組みとして、「まんがのまちづくりアドバイザー会議」を設置し有識者の助言をいただきながら、那須良輔作品を他地域で展示普及する出前まんが美術館、地域住民を対象とした美術館での体験型講座等の事業を実施しました。

また、地域住民の学習機会向上等を図るため、令和5年4月1日を施行日として湯前町民及び湯前小中学生の観覧料無料化を行いました。

第31回を数えた風刺漫画大賞では463点の応募があり、「新型コロナ」、「海洋プラスチックごみ」、「猛暑」や「災害」に加え「戦争」など、時世を表す多くの作品が集まり表彰式は3年ぶりに開催された漫画フェスタで実施しました。

また、文化振興の一環として、文化庁の芸術巡回公演事業に応募し小学生が文化芸術に触れる機会を設けました。

### (1) 文化財愛護意識の向上

湯前町街づくりアンケートでの「文化財行政・文化財の保存活用に対する住民満足度（満足＋どちらかといえば満足）」は43%でした。

### (2) 未指定文化財の調査

令和4年度未指定文化財の調査事業は実施しませんでした。

### (3) 指定文化財の維持管理

① 湯前町文化財保護委員会を3回開催し、文化財施設パトロール及び指定文化財に係る修理事業等の調査協議を実施しました。

#### ② 指定文化財の維持管理事業

単位：千円

事業（工事）名	事業概要	事業費
下里御大師堂解体保存修理事業	堂宇解体保存修理（R4 繰越明許）	57,161
	設計監理業務（R4 繰越明許）	11,660
	防災設備工事 現年前払金	11,125
	（R5へ繰越）	(16,075)
木造弘法大師坐像修理（下里区）	弘法大師坐像修理（R4 繰越明許）	(3,496) ※
下里御大師堂周辺整備事業	公園休憩所設計業務	1,397
明導阿弥陀堂防災設備改修工事	消防ポンプ（R5へ全額繰越）	(4,800)
湯前町文化財振興補助事業	施設維持管理・地域行事 民俗文化財継承活動・協議会活動	532
民俗文化財記録作成事業	浅鹿野棒踊り調査記録	200

※ 木造弘法大師坐像修理は下里区が事業主体の事業（町補助金額1,275千円）

単位：千円

事業（工事）名	事業費	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
下里御大師堂解体 保存修理事業	79,946	39,478	39,450	0	1,018
下里御大師堂周辺整 備事業	1,397	698	650	0	49

#### (4) 文化団体の育成

文化団体の状況

① 団体名称：湯前町文化協会 【会員数：2団体・138名】

② 設置目的

本会は、文化関係団体（個人も含む）機関の相互の連絡調整を図ると共に文化の振興に寄与することを目的とする。

③ 所管事業

- ・文化事業の主催並びに後援
- ・文化高揚に関する啓発宣伝
- ・町内各種文化団体並びに文化機関の相互の連絡調整と情報交換
- ・その他本会の目的の達成に必要な事業

④ 令和4年度事業実績

総会 1回（書面開催）

理事会 1回

役員会 18回

行事

- ・駅前周辺美化作業
- ・湯前町文化祭 規模縮小・会場分散開催  
生涯学習 11講座・文化部会 14部会
- ・研修会 1回
- ・球磨郡文化協会交流会 1回

(5) 湯前まんが美術館事業の充実

① 美術館事業等

ウィズコロナに移行し美術館は通年開館となり、新採学芸員1名、地域おこし協力隊2名を主体とし、那須作品を中心とした常設展示、特別展「木村忠夫300人の色紙展」を7～9月に開催。臨時経済対策交付税を活用し、まんがのまちづくりアドバイザーの設置、出前美術館事業や美術館ワークショップ、SNS活用での情報発信といった新事業を試行しました。

令和4年度

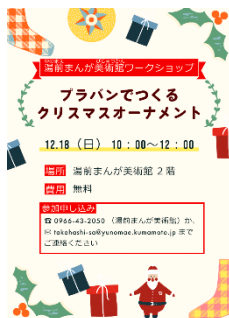
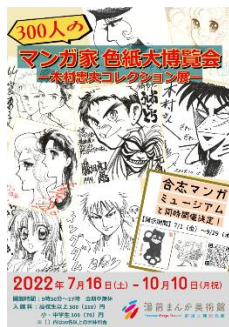
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	観覧・参加・来場者数	備考	
常設展示	①那須良輔作品展			②戦争と平和展			③『風を描く人』展			④いきもの展			2,477		
特別展示	①第30回風刺漫画大賞展			木村忠夫300人の色紙展						④第31回風刺漫画大賞展					
出前美術館事業							①東京都：松聲閣			②熊本県民パレア ③熊日新聞博物館			1,639		
美術館ワークショップ								①カルタ	②プラバン	③・④カルタ	⑤缶バッジ	⑥しおり	170		
その他イベント等	①『風を描く人』小中学校配布 ②小中学校まんが授業						③漫画ウィーク・フェスタ						3,554		
													交流人口計	7,840	

区分	歳出	財源						補助金等の内容
	美術館費	手数料	国県補助金	その他補助金等	(寄付金)	(特交措置)	一般財源相当	
令和2年度決算額	9,250	68	2,852	505			5,825	コロナ交付金・メディア芸術振興補助 市町村振興事業補助
令和3年度決算額	18,831	85	7,900	3,098		250	7,498	コロナ交付金・メディア芸術振興補助 B&G偉人漫画制作助成金
令和4年度決算額	18,978	468	5,000			9,600	3,910	交付税臨時経済対策

○令和4年度湯前まんが美術館利用状況

(単位：人・円)

区分	観覧者数					観覧料	
	大人	小人	団体	免除	計	令和4年度	令和3年度
4月	70	12	0	20	102	22,200	0
5月	185	31	11	17	244	60,910	0
6月	84	8	16	19	127	29,360	0
7月	81	13	10	25	129	27,700	0
8月	255	48	0	39	342	81,300	0
9月	137	15	0	55	207	42,600	0
10月	116	13	0	19	148	36,100	29,100
11月	77	8	0	471	556	23,900	36,700
12月	62	2	25	2	91	24,050	29,000
1月	114	17	0	20	151	35,900	0
2月	58	5	0	68	131	17,900	0
3月	142	10	0	97	249	43,600	0
合計	1,381	182	62	852	2,477	445,520	94,800
イベント賞品			107		107	22,470	-
総合計	1,381	182	169	852	2,584	467,990	-





## ○主な事業費明細

(単位：千円)

区分	事業名	事業費	事業費の財源内訳			
			特定財源			一般財源
			国県支出金	地方債	その他	
学校教育	地域と学校の連携・協働体制構築事業	432	287	0	0	145
	小中学生英語検定補助事業	120	16	0	0	104
	小中学生入学祝金	850	0	0	0	850
	小中学生修学旅行補助事業	1,380	0	0	0	1,380
	学校給食費補助事業	3,202	0	0	0	3,202
	高等学校等通学費補助事業	1,555	0	0	0	1,555
	特別支援教育就学奨励費補助事業	842	414	0	0	428
	低学年わくわく学習支援員配置事業	1,724	748	0	0	976
	中学校自転車駐輪場整備事業	2,948	0	0	0	2,948
	学校給食共同調理場空調改修事業	1,524	0	0	0	1,524
	小計	14,577	1,465	0	0	13,112
社会教育	分館施設及び活動振興事業	2,898	0	0	0	2,898
	生涯学習事業	1,892	0	0	0	1,892
	青少年健全育成事業	180	0	0	0	180
	小計	4,970	0	0	0	4,970
体 社 育 会	社会体育振興事業	5,081	0	0	0	5,081
	各種大会負担金（奥球磨大会・自転車競技大会）	5,623	0	0	0	5,623
	社会体育施設総合整備事業	23,156	0	0	5,300	17,856
	小計	33,860	0	0	5,300	28,560
文化財保護と文化振興	民俗文化財記録作成事業	200	0	0	0	200
	下里御大師堂保存修理事業	79,946	39,478	39,450	0	1,018
	下里御大師堂周辺整備事業	1,397	698	650	0	49
	まんが美術館関連事業（特別展等）	3,300	0	0	0	3,300
	小計	84,843	40,176	40,100	0	4,567

## 5 総括

(令和4年度一般会計決算書の主要な施策の成果より)

令和4年度は、令和3年度に策定した「第6次湯前町総合計画」の実質的なスタートの年であり、住民福祉向上を目指し計画に則り各種事業に取り組みました。一方、新型コロナウイルス感染症体対策については、政府が示したウィズコロナの考え方に従い、経済社会活動を極力継続できるような取り組みを行い、その結果、僅かではありますが景気の前向きな動きが見え始めました。またロシアによるウクライナ侵攻などの影響により、電力・ガス・食料品等の価格高騰が住民生活をはじめ事業経営を直撃し、その負担増を緩和する取り組みの必要性が生じたところです。さらに令和2年7月豪雨の災害復旧の目途が立ち始めた最中、令和4年台風14号が襲来し新たな災害の発生と復旧工事中の現場が増破するなど、新型コロナウイルス・価格高騰・災害復旧の3重苦の状態に見舞われた年となりました。

このような中、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、感染防止対策はもとより、商工業者・農林業者の経営支援及び地域活性化対策、家庭への物価高騰支援など、合計26種類もの事業に取り組み、総額172,980千円を支出しました。また、災害復旧費に675,515千円を支出し、農林水産施設と公共土木施設の早期復旧に取り組みました。

財政では、令和4年度一般会計においては、歳入決算額5,217,065千円で、歳出決算額4,651,055千円でした。翌年度へ繰り越すべき財源266,356千円を差し引いた実質収支額は、299,654千円の黒字決算となり、実質収支比率は、14.1%と昨年より2.2ポイント減となりました。

令和4年度実質収支額299,654千円から令和3年度実質収支額350,755千円を差し引いた単年度収支額は、51,101千円の赤字となりました。

財政健全化の指標からみる①実質赤字比率、②連結実質赤字比率は黒字であり、③実質公債費比率5.6%、④将来負担比率はマイナスでいずれも健全化判断基準を下回り、おおむね健全化であるという結果になりました。また、財政の柔軟性を示す経常収支比率は、9.0ポイント増加し、87.7%となりました。

これは、令和2年度からの新型コロナウイルス感染症の影響が軽減し、コロナ禍前の環境に徐々に戻ってきていることから、出張や研修、イベント等の再開や物価高騰等の影響による物件費の増加により、経常的支出が増えたこと、また、一般財源となる普通交付税は、基準財政需要額が7,112千円の増となったものの、交付額は前年度比20,480千円の減となったことが主な要因です。

### Ⅲ 指標の達成状況一覧

#### 1 学校教育の振興

##### ■目標値

(令和2年度以下同)

将来の姿を表す指標	現 状	令和5年度目標値
小中一貫教育に対する保護者の満足度 (第二期総合戦略より)	—	75% (令和6年度目標値)
地域学校協働活動参加者数	—	600人 (令和6年度目標値)

令和4年度の状況

■小中一貫教育に対する保護者の満足度 78.7%

■地域学校協働活動参加者数 (児童生徒教職員を除く地域住民等) 延べ902人

#### 2 社会教育の振興

##### ■目標値

将来の姿を表す指標	現 状	令和5年度目標値
生涯学習講座の参加者数	185人	245人
図書館利用者数	837人	1,500人

令和4年度の状況

■生涯学習講座の参加者数 延べ153人

■図書館利用者数 594人

### 3 社会体育の振興

#### ■目標値

将来の姿を表す指標	現 状	令和5年度目標値
人口に対するスポーツ団体への加入率	15%	17%

令和4年度の状況

■人口に対するスポーツ団体への加入率 11.2%

### 4 文化財保護と文化振興

#### ■目標値

将来の姿を表す指標	現 状	令和5年度目標値
湯前まんが美術館の入館者数	2,793人	5,300人
文化財行政・文化財の保存活用 に対する住民満足度 ※ (満足+どちらかといえば満足)	25%	35%

※湯前町まちづくりアンケートより

令和4年度の状況

■湯前まんが美術館の入館者数 2,477人

■文化財行政の住民満足度 43%

## 第6次湯前町総合計画検証結果

### ・第5章 地域をつなぐ人づくり

	将来の姿を現す指標	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標値	達成率	内部検証	今後の方針
学校教育の振興	小中一貫教育に対する保護者の満足度	—	74%	78.7%		75.0%	104.9%	With コロナで小中学校連携での行事も再開し、保護者満足度も対前年増、目標値達成となった。	従前の連携行事等の拡充も検討しながら、小中学校一連でのふろさと教育構成等により、小中一貫教育と地域学校協働活動の連動充実を図る。
	地域学校共働活動参加者数	—	709人	902人		600人	150.3%	令和3年度はコロナウイルスの影響による参加人数の伸び悩みが見られたが、令和4年度はwithコロナに移行してきたことや、地域学校共働活動の認知が進んだこともあって、参加人数の増加につながった。	地域学校協働活動としては、新型コロナウイルスの影響も低減し、順調に実施されている。児童生徒の活動状況を表現できる目標値に後期計画策定時に変更することを検討する。
社会教育の振興	生涯学習講座の参加者数	185人	128人	153人		245人	62.4%	生涯学習の講座種・受講者が固定化・縮小している。	令和5年度から試行的な特別講座を開催し、生涯学習機会の拡充を図る。
	図書館利用者数	837人	666人	594人		1,500人	39.6%	中央公民館棟内図書室利用者は図書貸出利用者数で算定。(町内536人・町外58人)利用状況：高齢者・親子連れが多い。学習や談話スペースとしての利用。関連施設(公民館・美術館)利用の際の立ち寄り多数。	町内公共施設や周辺図書館へ情報公開(定期刊行物の配布や掲示のお願い)やおはなしの会の定期開催等を行うなど、図書館の場所の周知・利用促進と登録者の増加を図る。利用促進：閉館時の夜間受付(夜間ポストの設置等)
社会体育の振興	人口に対するスポーツ団体への加入率	15.0%	13.5%	11.2%		17.0%	65.9%	総合型地域スポーツクラブのジュニア会員は総合運動クラブへの参加により増加しているものの、一般会員は固定化し、伸び悩んでいる。また、各教室の指導者の充実も課題である	新型コロナウイルスの影響により低迷していた活動も、通常通りに再開できたが、運営委員会の定期開催を実施し、会員増加につながる取り組み、地域のニーズについて検討、クラブ活性化への取り組みを実施する。
文化財保護と文化振興	湯前まんが美術館の入館者数	2,793人	712人	2,477人		5,300人	46.7%	新型コロナウイルスに起因する長期閉館からWithコロナに移行した初年度で、入館者数の回復が見られた。地域おこし協力隊を迎え自館展示での工夫だけでなく、アウトリーチ型の展示・情報発信などの新規事業にも着手した年度であった。	湯前まんが美術館の原点である那須良輔作品のアーカイブや常設展示と合わせ、他館・大学・漫画家等との連携といった展開を加え、美術館ワークショップ等のイベントを交えながら地域住民に愛され、多くの人を訪れる美術館を目指す。
	文化財行政・文化財保存活用に対する住民満足度	25.0%	—	43.0%		35.0%	122.8%	目標を達成することが出来た。逆に、【不満】もしくは【どちらかという不満】と回答されたのは、全体の7.4%であった。しかし、【わからない】と回答された方が46%おり、そもそも文化財に対する理解度が低いことが分かる。	有形文化財である下里御大師堂や八勝寺、宝陀寺の周辺整備を進めていくとともに、事業の現地見学等によって文化財の普及活動に努めていく。また、無形文化財である東方組太鼓踊りや浅鹿野棒踊りなど、小・中学校の総合学習の時間を利用して体験してもらい、文化財への理解度向上や後継者育成につなげていく。

#### 策定審議会意見

・今後の方針にそって事業を進め、目標値達成に向けて取り組んでもらいたい

## IV 学識経験者意見

※ ◎ 評価 □ 今後の方向性等 ▲課題

項目	事項	意見
学校教育の振興	小中一貫教育	◎小中一貫教育の推進は、各種行事の合同開催や交流授業は小中学生の交流相互の理解が深まり有意義である。 ◎□小中一貫教育では、小中共に積極的に取り組まれている。スムーズな小学校から中学校への移行のためにも今後学校行事や乗り入れ授業を継続していただきたい。 ◎学力向上に向けた実施状況で小中一貫教育の推進、乗り入れ授業を評価、特に中学校教諭による小学校での美術・音楽の専門学習機会を評価する。
	GIGA スクール	◎□GIGAスクール構想の取り組みとして児童生徒へ1人1台のタブレット端末の整備は時代の流れに即応した大きな取り組みである。今後有効活用し、効果を上げて行かれることに期待したい。不登校傾向、長期病欠の児童生徒が学校外で授業を受けられるような取り組みを検討していただきたい。
	子育て支援等 学校給食	◎入学祝い金支給、修学旅行・通学費補助は保護者負担軽減のため継続していただきたい。 ◎小中学生夢創出事業は若い時期夢を持つ時期に必要な事業と評価する。 ◎□学校給食では「生きた教材」として重要な教育活動と考え、地産地消の推進と給食費支援を継続いただきたい。▲□学校給食の場を活用し色々な取組を良いと考えるが一部好き嫌いのある児童生徒があると聞き及ぶので、配慮や教えを考える必要がある。
	その他	▲□中学校での自転車通学増は事故等の懸念もあり安全教育指導が望まれる。
社会教育の振興	地域住民活動	▲コロナ禍、高齢化により分館活動が減少しつつあり社会教育振興に影響を及ぼしている。
	生涯学習	◎□生涯学習においては興味ある講座・やりがい・仲間づくり・健康づくりに効果があり、新しい講座の検討を含みつつ継続いただきたい。 ▲土曜、日曜の部活動が休みになり、家に閉じこもり気味の児童生徒の増加が懸念される。 □子どもたちを取り組んだ生涯学習が必要となるのと推測され、地域で育てる活動が今後望まれる。
	読書推進	□中央公民館図書室利用者で特に夏休み等は学習の場としての利用増も考えられ引き続き利用しやすいスペースづくりが求められる。 □「おはなし会」などの定期開催といった取組に親子連れの参加等が期待される。
社会体育の振興	社会体育 行事等	□コロナ後の町民体育祭やスポーツ大会等の町民参加に今後啓発を推進いただきたい。 ◎□コロナ禍でも春季球技大会が開催できた。出来るものは積極的に実施していただきたい。 ◎各分館で開催される「いきいき教室」町内事業所での体操教室は普段行わない体操を取り入れており有意義であると評価する。
	B&G 関連事業 社会体育施設	◎B&G 関連事業において青少年健全育成、地域住民の理解のための「水辺の安全教室」「BG塾」等の開催を評価する。◎□B&G海洋クラブの活動は郡内の町村ではない取り組みで効果を上げている。今後更なる活性化を進めていただきたい。 ◎体育施設の整備については海洋センター体育館、テニスコート改修を評価する。 ◎B&G 海洋センター及びテニスコート改修事業による町民利活用の増が期待される。 ◎□海洋センター内トレーニングルームは個々に合わせた無理のない運動の場として利用できるの、利用者ニーズに沿った取組を進めていただきたい。

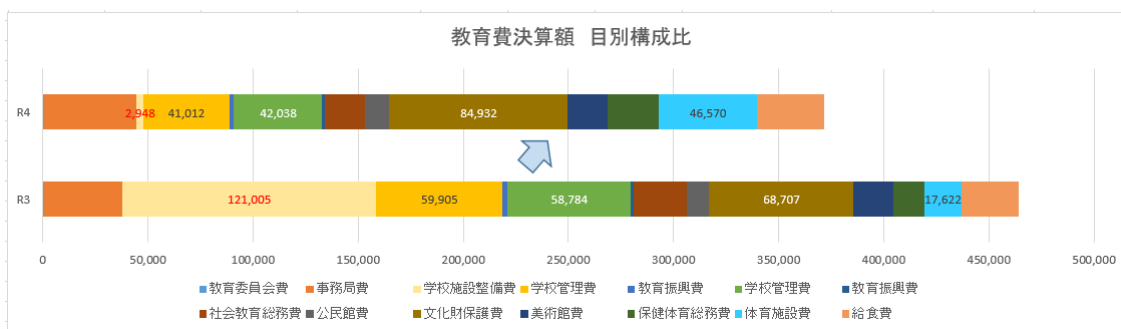
	総合運動クラブ活動 中学校部活動の地域 移行	<p>◎総合運動クラブ活動は児童のスポーツのおもしろさを育み運動能力の向上に必要で有意義である。</p> <p>◎総合運動クラブは部活動の代替として体力維持、体力向上に寄与している。</p> <p>▲□総合運動クラブの指導者不足、高齢化が喫緊の課題である。40人ほどの児童を2人の指導者で見ることがある。部外の専門の指導者を更に活用する方法や新しい指導者を増やす取組を進めていただきたい。</p> <p>▲□総合運動クラブ活動を継続するためには指導するコーチが必要であり、引き続きコーチ増員の取組が必要となっている。</p> <p>▲□中学校部活動の地域移行は今後の活動の在り方など情報収集に努める必要がある。</p>
文化財保護 と文化振興	文化財保存活用	<p>◎文化財保護・保存については各種施策が図られており評価する。</p> <p>◎□下里御大師堂の復元修理が無事に終わり感謝している。後世に素晴らしい文化財を残せた。今後の維持管理も継続してほしい。</p> <p>□町民に町内に残る多くの寺社仏閣を訪ねてもらう機会を更に増やし、「地域の宝」を自覚して頂きたい。</p> <p>◎▲□文化財保存活用は町全体での取組が必要となっており地域住民の理解促進も重要と考えられ、地域住民一体となった保存活用の推進を図られたい。</p>
	湯前まんが美術館	<p>◎□まんが美術館の事業は年間にわたり実施されており評価に値し、更に継続をお願いしたい。</p> <p>◎まんが美術館の町民・小中学生無料化は美術館に興味をもつきっかけとなる。</p> <p>◎まんがのまちづくりアドバイザー会議の設置など積極的な取組を評価する。</p>
総括		<p>◎教育委員会の多種多様な前向きな取り組みを評価する。</p> <p>□更に一歩進めての町民サイドに立った内容になっていければと考える。</p> <p>◎教育施策の推進状況として、全体的に適切に進められていると評価する。</p> <p>◎コロナ禍の影響があった中、教育委員会事務事業、各種計画事業が済々と実行されたことを評価する。</p>

## V 資料等

### 教育費決算額の対前年推移

単位：千円

教育費			項	目			
R3	R4	対前年		R3	R4	対前年	
463,958	371,774	-92,184	教育総務費	教育委員会費	489	543	54
				事務局費	37,109	44,165	7,057
				学校施設整備費	121,005	2,948	▲ 118,057
			小学校費	学校管理費	59,905	41,012	▲ 18,893
				教育振興費	2,462	2,211	▲ 252
			中学校費	学校管理費	58,784	42,038	▲ 16,747
				教育振興費	1,173	1,374	200
			社会教育費	社会教育総務費	25,355	18,855	▲ 6,499
				公民館費	10,638	11,649	1,011
				文化財保護費	68,707	84,932	16,225
				美術館費	18,831	18,978	147
			保健体育費	保健体育総務費	14,830	24,312	9,482
				体育施設費	17,622	46,570	28,948
給食費	27,048	32,187		5,139			



教育費は、予算現額 4 億 2,349 万 5,000 円に対し、3 億 7,177 万 4,078 円を支出しました。また、年度内完了が困難であるため、項 4 社会教育費・目 3 文化財保護費において、下里御大師堂周辺整備工事 20,875 千円、項 5 保健体育費用・目 2 体育施設費で町民グラウンドテニスコート改修工事が対象となる社会体育施設総合整備事業改修工事 21,510 千円の合計 42,385 千円を繰越しました。そのため、執行率は 87.8%、歳出総額に占める割合は、8.06%となります。

歳出合計は、令和 3 年度に対し 9,218 万 4 千 415 円の減となりました。その主な要因は、学校施設整備費での対前年 118,057 千円の減、小・中学校における GIGA スクール関連事業や新型コロナ対策事業費等をあわせて 35,691 千円の減から、下里御大師堂関係事業の対前年増 10,884 千円、保健体育費での施設整備事業費等 43,568 千円などを差し引いた額となります。



令和4年度決算 対前年度増減の主な事由

項	令和3年度	令和4年度	前年度増減額
	支出済額	支出済額	
	円	円	円
1 教育総務費	158,602,852	47,656,603	△ 110,946,249
2 小学校費	62,367,372	43,222,834	△ 19,144,538
3 中学校費	59,957,627	43,411,304	△ 16,546,323
4 社会教育費	123,530,357	134,414,670	10,884,313
5 保健体育費	59,500,285	103,068,667	43,568,382

1 教育総務費 対前年▲110,946千円

目	令和3年度	令和4年度	前年度増減額
	支出済額	支出済額	
教育委員会費	489,296	543,365	54,069
事務局費	37,108,585	44,165,238	7,056,653
学校施設整備費	121,004,971	2,948,000	△ 118,056,971
計	158,602,852	47,656,603	△ 110,946,249

(1) 教育委員会費

教育委員会費は対前年で54千円の増、教育委員会臨時会の開催と球磨郡町村教育委員会連絡協議会負担金増30,695円（人球人権協負担金分）が主な増の事由です。

(2) 事務局費

事務局費は対前年で7,057千円の増。会計年度任用職員1名分2,753千円、人事異動に伴う職員給与等3,048千円、令和3年度はコロナで延期となった中学3年生の修学旅行補助1,090千円、新規事業の地域学習支援業務委託（熊日新聞社）350千円が主な増の事由です。

(3) 学校施設整備費

令和3年度決算では、小学校の長寿命化型外部改修工事98,743千円、中学校体育館のトイレ整備14,816千円、中学校放送室改修工事3,389千円など決算額121,005千円であったが、令和4年度は中学校での自転車駐輪場整備2,948千円のみであったため、対前年で▲118,057千円の減となりました。

## 2 小学校費 対前年：▲19,145 千円

目	令和3年度 支出済額	令和4年度 支出済額	前年度増減額
小学校費 学校管理費	59,905,196	41,012,251	△ 18,892,945
教育振興費	2,462,176	2,210,583	△ 251,593
計	62,367,372	43,222,834	△ 19,144,538

小学校費では、現年度予算で体育館トイレ修繕等による修繕料の増 767 千円、高木剪定業務委託と校内 LAN 保守委託料で 663 千円の増、ICT 機器備品購入 1,456 千円の増などにより対前年で 3,018 千円の増となりましたが、令和 3 年度は令和 2 年度からの繰越事業で新型コロナウイルス対策事業での学校施設修繕 5,224 千円、タブレット購入 16,505 千円など 21,911 千円の決算額が含まれるため、総体的に対前年で▲18,893 千円となりました。

## 3 中学校費 対前年：▲16,546 千円

目	令和3年度 支出済額	令和4年度 支出済額	前年度増減額
中学校費 学校管理費	58,784,472	42,037,759	△ 16,746,713
教育振興費	1,173,155	1,373,545	200,390
計	59,957,627	43,411,304	△ 16,546,323

中学校費では、会計年度任用職員の人件費増、運動場ナイター施設や台風 14 号被害により修繕料が対前年で 2,563 千円の増などがありましたが、新型コロナウイルス対策としての消耗品購入、ICT 機器等備品購入費が大きく減少したため、現年度予算で対前年▲2,685 千円となっています。また、小学校費と同様に令和 3 年度はコロナ対策繰越予算で 14,061 千円が決算額に含まれるため、総体的に対前年で▲16,546 千円となりました。

#### 4 社会教育費 対前年：10,884 千円

目	令和3年度 支出 済 額	令和4年度 支出 済 額	前年度増減額
社会教育総務費	25,354,502	18,855,286	△ 6,499,216
公民館費	10,637,983	11,649,406	1,011,423
文化財保護費	68,706,870	84,931,854	16,224,984
美術館費	18,831,002	18,978,124	147,122
計	123,530,357	134,414,670	10,884,313

##### (1) 社会教育総務費

社会教育総務費では、会計年度任用職員1名の減、令和3年度に完成した偉人漫画制作事業費4,337千円が対前年で純減となり、総額で6,499千円の減となりました。

##### (2) 公民館費

公民館費では、施設修繕料の減等もありましたが、公民分館長謝金192千円のほか、役務費、コピー使用料の増、公民分館施設整備補助金で対前年710千円の増となり、総額で1,011千円の増となりました。

##### (3) 文化財保護費

文化財保護費では、現年度予算では対前年で1,584千円の減でしたが、令和3年度からの繰越事業で下里御大師堂保存修理事業費16,534千円、地域文化財信仰補助事業として木造弘法大師坐像修理事業補助委員1,275千円が対前年増となり、総額で16,225千円の増となりました。

##### (4) 美術館費

美術館費では、令和3年度までの文化庁補助事業によるアーカイブ事業関係の会計年度任用職員人件費が減少しましたが、令和4年度より地域おこし協力隊2名体制となったため報酬総額は対前年で増となりました。また、令和4年度より第三者評価機関の位置づけとなる「まんがのまちづくりアドバイザー会議」を設置し報酬から報償費までの総額で対前年3,672千円の増額となりました。また、他地域で美術館収蔵作品の展示を行う「出前まんが美術館」事業等により旅費が1,532千円増となりました。新型コロナ影響の緩和により、美術館は通年開館することが可能となり、事業費となる需用費は1,125千円の増となりましたが、アーカイブ事業の外注を職員直営で実施することなどにより役務費は対前年で1,593千円の減となりました。

委託料では、学芸員職員の配置に伴い令和3年度の実験室支援業務委託料1,790千円の純減となり、前述の「出前まんが美術館」事業に伴う展示パッケージの制作等を目的とした美術館特別展示事業委託料3,300千円を支出したため、委託料総額では1,510千円の増となりました。そのほか、使用料及び賃借料と備品購入費は対前年で3,444千円の減となり、美術館費現年度予算では対前年で総額3,139千円の増となりましたが、令和3年度の繰越事業となる新型コロナ対策の美術館自動ドア設置工事費2,992千円が純減となり、総体的に美術館費は対前年で147千円の増となりました。

## 5 保健体育費 対前年：43,568千円

目	令和3年度		令和4年度		前年度増減額
	支	出	支	出	
保健体育総務費		14,829,695		24,311,518	9,481,823
体育施設費		17,622,159		46,569,753	28,947,594
給食費		27,048,431		32,187,396	5,138,965
計		59,500,285		103,068,667	43,568,382

### (1) 保健体育総務費

保健体育総務費では、人事異動に伴う人件費の増に加え、新型コロナ影響の緩和から各種活動が再開し、スポーツ推進委員謝金 475 千円、B&G 財団関係での出張旅費 301 千円、総合型運動クラブ活動委託料 321 千円が増加し、全国スポーツ大会出場奨励金も対前年で 760 千円増加、3 年ぶりで初の開催となった奥球磨駅伝大会やロードレース大会、令和 4 年度が初となる自転車競技大会ツアーオブ九州の開催に伴う大会負担金 5,415 千円等が増加し、総額で対前年 9,482 千円の増となりました。

### (2) 体育施設費

体育施設費では、新型コロナ影響の緩和に伴うプール開館期間の対前年増に応じ、プール監視業務委託料が対前年で 1,204 千円増となり、社会体育施設総合整備事業として B&G 海洋センター改修、町民グラウンドテニスコート改修事業を実施したため、設計監理委託料及び工事費として、23,156 千円が対前年純増となりました。なお、テニスコート改修工事は工事期間が不足したため、前払金を支出し、令和 5 年度へ事業繰越を行った。また、地域活性化起業人事業が 2 年目を迎え、令和 3 年度の 9 か月間から 12 か月間で事業期間が延びたことに伴い、事業負担金が対前年で 2,475 千円の増となり、併せて起業人発案事業等のスポーツコミュニティ活性化事業 638 千円等を合わせ、総額で対前年 28,948 千円の増となりました。

### (3) 給食費

給食費では、社会的人件費の増に伴う学校給食センター調理業務委託料が対前年で 2,358 千円増となり、調理場施設の排気ダクト一斉清掃で 655 千円、空調改修工事 1,524 千円、米飯原料の「ぴかまる種」試用 216 千円、物価上昇経済対策での学校給食安定供給支援事業 300 千円の増などにより、対前年で 5,139 千円の増となりました。

# 令和4年度教育施策の体系図

